

#### 4 令和2年度 学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

担当	分野	No.	質問項目	分析等
教務	学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	<p>・生徒は肯定評価86.1%と昨年度よりも更に向上し(生徒H30:84.0%, R1:85.7%), 保護者の評価も85.1%と高く(保護者H30:77.8%, R1:82.4%)全体的に評価が上がった。電子黒板やiPadを用いたICT授業が推進されるとともに、アクティブラーニングを主とする生徒主体の能動的学習スタイルが行われてきた結果と捉える。先生方の授業の工夫が、効果的な指導と生徒の授業理解度向上に繋がったものと考えられる。</p> <p>・昨年度から、授業改革(研究・挑戦)から学校改革を図ろうとスタートした。例年以上に生徒と保護者の授業評価に対する関心が高く、更に先生方が「生徒の能力を引き出し伸ばす」ための授業を展開している結果であると考えられる。そのことを保護者も承知している結果と捉えている。今後も、生徒の実態を把握しながら、「個を伸ばし、全体のレベルを高められる」授業実践が図れるような取り組みを進めていきたい。</p>
生徒	生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	概ね肯定的な評価であるがC、Dの評価が生徒の10%前後あり、保護者、教員も10%弱あり指導が行われてないと捉えられているとしたら残念である。後期は容儀指導を全職員で対応した。継続した取組が必要であり効果が出ることに期待したい。
進路	進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	<p>・肯定的評価がR1→R2:生徒90%→91%(同様)、保護者83%→87%(やや上昇)。コロナ禍において、進路適性検査や進路ガイダンスなどの各種行事や進路情報の提供、担任との面談などがある程度機能していると思われる。</p> <p>・スタディーサポートⅠ(4月)→スタディーサポートⅡ(10月)→実力診断テスト(1月)という流れとその分析会実施については、進路目標の明確化に役立ったのではないかとと思われる。</p> <p>・全体で行う「キャリアセミナー」「進路ガイダンス」等に加え、任意参加の進路説明会等(校内・外)の案内を引き続き行っていきたい。</p>
保厚	教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制は出来ている	<p>・R1 85.3% → R2 87.5%(生徒) ・R1 77.6% → R2 81.3%(保護者)</p> <p>コロナ禍ではあったが、担任との面談やカウンセラーによる教育相談体制が昨年度より評価されている。</p>
生徒	部活動	5	学校として部活動は活発に行われている	どのカテゴリーも肯定的な評価である。今年度は考査前も活動できるようにしたが学習とのバランスが崩れないよう注視していきたい。
生徒	生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	部活動が活発に行われ、生徒会専属の人員配置はなく部活動の傍らに活動しているのが現状であるが年々A・B評価のポイントは上がってきている。
総務	学校特色あり	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	柴田町の町議会議員を招いての授業、運動部の小中学校への技術指導、合同練習や練習試合、文化部の地域の方を招いての本格的な活動および地域貢献、仙台大学との連携などが相俟っての成果と考える。
総務	防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	2年生、3年生において数値を下げている。1回の避難訓練しか行っていないからなのか、避難訓練の在り方自体に問題があるのか今一度考え信頼回復にあたりたい。
教務	開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	<p>生徒87.5%(H30:80.6%, R1:85.3%), 保護者82.8%(H30:64.7%→R1:70.4%)と双方とも評価が一層高まった。特に保護者の評価が非常に高まっていることは「開かれた学校づくりが実行されている」ことである。</p> <p>柴高通信を定期的に作成掲示及び配布したこと、学校紹介動画を作成・配信したことは学校情報発信に効果があったと考える。HPの部活動更新は、残念ながら強く呼びかけても定期的にされていないため、「更新チェック制度」を設けるなど、新年度の課題としてしっかりと取り組んでいきたい。</p>

事務	施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	施設設備の老朽化が見られるが、生徒・保護者・教職員それぞれの回答は、80%以上がAまたはBと評価された。今後も、安全面を最優先に考慮し、維持管理及び整備に努めたい。
生徒	いじめ対策	12	【生徒】学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる 【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている	月1程度生活アンケートを実施しているが生徒の20%程度はC.D評価である。保護者にあっては32.3%である。このことからいじめに対して早期対応ができていないととらえ取組の仕方を検討していきたい。
生徒	総合満足度	13	学校生活は充実している	生徒の学校生活の充実度は82.8%と高い評価を得ているが昨年度は、84.4%であり1.6ポイント下がっている。2学年ではAB評価が75.7%CD評価が24.3%となっている。生徒全体のポイントが下がった要因である。生徒理解に努め個々の目標達成に臨める環境作りを検討していきたい。
保厚	保健厚生環境	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	・R1 85.5% → R2 84.0%(生徒) ・R1 83.0% → R2 83.0%(教職員) 清掃活動については若干生徒による評価が下がっている。日常の清掃活動を効率的・効果的に実施していきたい。
保厚		15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	・R1 93.9% → R2 94.0%(生徒) 健康診断や保健講話・保健便りについては昨年同様高い評価を得ている。来年度も生徒の健康管理には十分な情報提供を行いたい。
総務	総務	14	(保護者のみ) PTA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	今年度はコロナの影響で、さまざまな行事が中止、または規模縮小という状態でPTA会員が顔を合わせるという機会が少なかった。来年度は新しい形での行事にも力を入れ、多くのPTA会員が顔を合わせる機会を作りたい。
教務	教務図書	16	学習、読書及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	肯定的な回答が生徒85.8%(H30: 88.2%, R1: 85.3%), 保護者81.3%(H30: 76.0%, R1: 78.0%)と高い評価を得ている。定期的に図書室を授業やLHRで活用している教科・クラスも見られることから、生徒にとって利用しやすい場となっている。
進路	進路指導	17	模試や課外講習などで進路達成に向けた実力養成は適切に行なわれている。	模試の受験率が極端に低いのが現状であり、教員の3分の1は否定的評価である。しかしながら3年生に対する公務員講習、面接指導、総合型・学校推薦型入試対策の丁寧な個別指導により、合格率も高くなっているため肯定的評価(生徒85%、保護者83%)が多いと考えられる。
教務	教務図書	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	肯定的な回答が生徒87.9%(H30: 88.2%→R1: 89.8%), 保護者77.5%(H30: 85.9%→R1: 80.4%)の結果であった。保護者の肯定的評価が低下しているが、新型コロナウイルス感染防止による「生徒のみの鑑賞とした」ことも要因の一つと考えられる。今後も、生徒の芸術性を高め、情操教育が図れる内容を吟味し、行事として継続したい。